

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会 電気通信システム委員会(第14回) 議事概要

1 開催日時及び場所

令和2年12月2日(水) 13:00~14:20

於、オンライン会議 (Skype for Business)

2 出席者(敬称略)

(1)委員等

主 査:丹 康雄

主査代理:前田 洋一

委 員:相田 仁

専門委員:浅井 光太郎、岡村 治男、笠井 康子、釧吉 薫、後藤 良則、高田 芽衣、
永沼 美保、長谷川 一知、日高 邦彦、福本 史郎、宮地 悟史、本永 和広、
森田 純恵、山條 朋子、山本 秀樹

(2)オブザーバー

荒木 則幸(日本電信電話、SG15 副議長)、

高谷 和宏(日本電信電話、SG5 副議長)、

三宅 優(KDDI 総合研究所、SG17 副議長)、

山岸 和久(日本電信電話、SG12 Q13 ラポータ)、

山田 徹(日本電気、SG20 副議長)

(3)総務省

近藤 玲子(通信規格課長)、重野 誉敬(通信規格課国際情報分析官)、

渡邊 修宏(通信規格課標準化推進官)、長屋 嘉明(通信規格課課長補佐)、

天野 佑基(通信規格課専門職)、

水井 健太(電気通信技術システム課番号企画室課長補佐)

3 議題

(1)世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

(2)電気通信標準化諮問委員会への対処について

(3)ITU-T SG20 への郵便投票(TAP)について

(4)ITU-T SG11 会合への日本寄書提出について

(5)その他

Beyond 5G 新経営戦略センターの立ち上げについて

4 配付資料

資料 14-1 世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

資料 14-2 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会 電気通信システム委員会
報告(案) - 電気通信標準化諮問委員会への対処について -

資料 14-3 情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会
電気通信システム委員会 報告(案)の概要

資料 14-4 SG20(スマートシティ、IoT)に係る郵便投票(TAP)案件の概要

資料 14-5 ITU-T 会合への提出寄書概要

資料 14-6 報道資料「Beyond 5G 新経営戦略センター」の立ち上げ及びキックオフシンポジウムの開催

参考資料 1 ITU 部会電気通信システム委員会構成員一覧

参考資料 2 SG20(スマートシティ、IoT)に係る郵便投票(TAP)案件(原文)

5 議事

(1)世界電気通信標準化総会(WTSA-20)について

資料 14-1 に基づき WTSA-20 の概要・今後の予定について事務局から説明を行った。質疑・意見等はなし。

(2)電気通信標準化諮問委員会への対処について

資料 14-2、資料 14-3 に基づき電気通信標準化諮問委員会への対処について事務局から説明を行い、SG 要職者を務める専門委員・オブザーバーより補足が行われた。主な質疑・意見は以下のとおり。

丹主査:

資料 52 ページの公衆衛生の後半部分に TC268 との重複の話が書かれているが、記述場所はここでいいか。(5)の KPI も重複していると思うが、今回作業グループを立ち上げてというのは、(1)の公衆衛生のことだけに対してということか。

山田オブザーバー:

重複に関しては、まさに公衆衛生に関連する提案が ISO、IEC にも大量にあるということになるが、3組織の合同のマネジメントチームでの議論は、公衆衛生に限った話ではない。少なくとも公衆衛生に関しても、もちろん議論の対象にはなるが、スマートシティという括りでの共同

作業になると理解している。

浅井専門委員：

他の標準化組織との作業の重複分析ということでは、公衆衛生関連だけではなく、スマートシティの関係で重複分析を行うことになっているという理解でよろしいか。

山田オブザーバー：

その方向で、スマートシティに関わる3組織での合同のタスクフォースという名前がつけられている。公衆衛生のみではなく、スマートシティ標準化全般だと私は理解している。

近藤通信規格課長：

御指摘の本年 10 月に開催された3組織での合同のタスクフォースにおいては、公衆衛生に関する提案についてのみ重複がないかを分析した会合となっている。

丹主査：

そういう意味合いでは、ここに書いてあってもいいが、スマートシティに関しては重複に関する検討が行われることになったという理解でよろしいか。

山田オブザーバー：

3組織のマネジメントチームで集まってというのは、正式に ToR 等を検討して決めて、どういう活動をしていくかまで定義されているので、そこには公衆衛生のことだけではなく、スマートシティ全般でのオーバーラップ等を解消していくことが書かれている。

丹主査：

それでは、この記載については、事務局と山田オブザーバーとで相談しながら、修正することにした。

(3)ITU-T SG20 への郵便投票(TAP)について

資料 14-4 に基づき ITU-T SG20 への郵便投票(TAP)について事務局から説明を行った。質疑・意見等はなし。

(4)ITU-T SG11 会合への日本寄書提出について

資料 14-5 に基づき ITU-T SG11 会合への日本寄書提出について事務局から説明を行った。質疑・意見等はなし。

(5)その他

・Beyond 5G新経営戦略センターの立ち上げについて

資料 14-6 に基づき Beyond 5G新経営戦略センターの立ち上げについて事務局から説明を行った。主な質疑・意見は以下のとおり。

丹主査:

シンポジウムはウェブから直接ではなく、メールで申し込むのか。

渡邊標準化推進官:

メールアドレスが報道発表資料に書いてあり、こちらに申し込んでいただくと参加できるようになっている。

以上